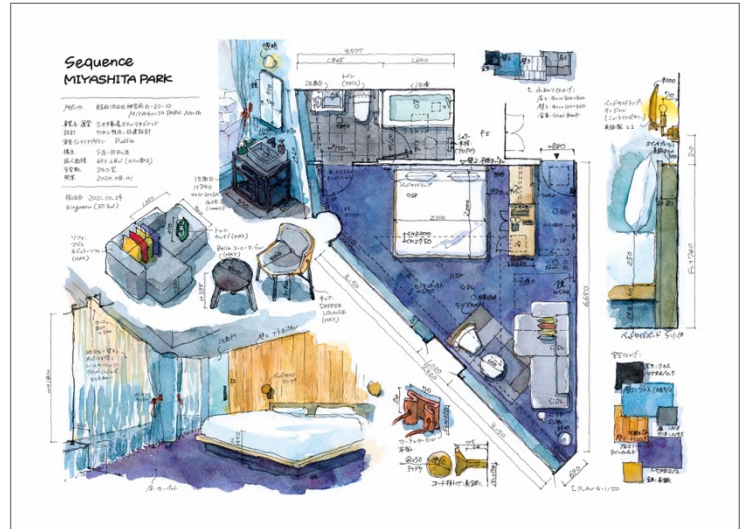
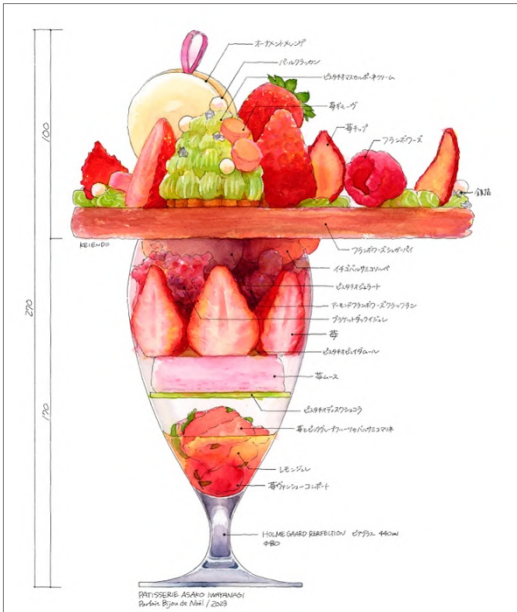




2025年2月14日  
国立大学法人東京藝術大学

東京藝大×JR 東日本 上野駅ギャラリー「CREATIVE HUB UENO "es"」  
遠藤慧 初の個展を開催  
「MEASURE: 空間を解剖する—実測スケッチの世界」



左：《PATISSERIE ASAKO IWAYANAGI Parfait Bijou de Noel》2025、  
水彩、右：《東京ホテル図鑑 sequence MIYASHITA PARK》2023、水彩

この度、JR 上野駅構内のギャラリー「CREATIVE HUB UENO "es"」では、建築物のみならず、室内の家具や花瓶などの小物、さらには食べ物に至るまで、空間のリサーチとしてさまざまなものを測量し、「実測」の概念を超えた美しいスケッチを発表する、遠藤慧の初の個展「MEASURE: 空間を解剖する—実測スケッチの世界」を、2025年2月25日（火）から2025年3月23日（日）まで開催します。

実測は、建築家が建築空間を身体的に理解するために古くから行われてきた手法です。3D スキャンや高解像度写真を用いて簡単に空間情報を得ることができる現代において、遠藤の視点を通して描かれる実測スケッチからは、空間の質や建築の美しさをより深く感じ取ることができます。本展では、未公開のドローイングを含むこれまでに描き溜めたスケッチ約150点以上を、CREATIVE HUB UENO "es"の空間に合わせて展示します。その場を構成する要素を細部まで拾い上げ、建築的な視点から空間を捉え直す遠藤の作品を、ぜひご堪能ください。

<開催概要>

- 展示会名：遠藤慧 個展「MEASURE: 空間を解剖する—実測スケッチの世界」
- 会期：2025年2月25日（火）～2025年3月23日（日）
- 休場：月曜定休（祝日の場合は翌日に振替）
- 時間：11:00～19:00（最終入場 18:45） □ 入場：無料
- ウェブサイト：<https://ueno-es.jp/>
- 会場：CREATIVE HUB UENO "es" 東京都台東区上野 7-1-1（上野駅浅草口付近）

## □アーティストステイタメント

---

実測は、建築空間を体験し、その設計を身体的に会得するために、古くから建築家たちが試みてきた手法である。巻き尺を使って一つひとつの寸法を確かめることは、建築を理解し、寸法感覚を養うのに有効な方法だった。今どきそんなことをする人は少ないが、十数秒もあればスマホで3Dスキャンや大量の高解像度写真が手に入る現代において、その簡単さゆえに、「その場で空間を実感する」という体験はむしろ希薄になっているように思う。

描こうとすることで初めて、実は何も観ていなかったことに気付く。何を主体に描くか、どの構図で描くか、どの縮尺で描くか——すべてを選び取らなければ、一本の線を引き始めることすら難しい。その難しさこそが、空間にじっくり向き合うために残された、数少ない手段の一つだと考えている。

設計者としては、建築、内装、家具といったレイヤーに分けて、別々の図面で考えてしまいがちである（そうする必要がある）。しかし、空間の体験とは、本来、その場で感じられる総合的なものではないか。さらには、そこで食べた食事や、その場に至るまでの道のりさえもが、空間の感じ方を決定付けている。スケッチを通じて私は、これらすべての要素を横断的に記録し、空間の質を捉えることを試みている。

遠藤慧

## □主な展示作品

---

ホテルの客室の水彩スケッチ（B4サイズ 24枚 水彩紙に印刷、木パネル）

スケールを横断する実測スケッチ（A5～A2サイズ 約15点 水彩紙に印刷、木パネル）

実測の野帳（A4スケッチブックサイズ 100枚～150枚程 原本）

## □推薦コメント

---

遠藤慧さんの取り組む「実測スケッチ」とは単純で奥深い言葉である。建築の領域では「実測」も、「スケッチ」も、ともに基礎的なスキルであるが、その組み合わせは珍しいからである。パフェの断面を描いたり、ベッドルームの俯瞰的視点を描いたりするのは、建築の基本図である断面図、平面図の応用であるが、そこに正確な陰影や色彩が加わることによって、図と絵が結ばれる。その図かつ絵なるもの、あるいはそのどちらでもないものの描き方を通じて空間の理解の仕方を考えようとする点がユニークである。

東京藝術大学美術学部建築科准教授 藤村龍至

## ■遠藤慧（えんどう けい） | 作家プロフィール

---



2017年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程建築専攻修了。一級建築士、カラーデザイナー。建築設計事務所RFAを経て、環境色彩デザイン事務所クリマ勤務。東京都立大学非常勤講師。デザインのリサーチとして始めた「実測スケッチ」がSNSで人気を博す。著書に『東京ホテル図鑑 実測水彩スケッチ集』（学芸出版社）。講談社の雑誌『with』にて「実測スケッチで嗜む名作建築」、BUNGA NETにて「高架下建築図鑑」連載中。

撮影：YUTA ITAGAKI KIENGI

## □ 出版物



### 東京ホテル図鑑 実測水彩スケッチ集

(学芸出版社、2023年8月)

美しいスケッチが人気の建築士&カラーコーディネーターが、世界観の際立つホテルに泊まって、測って、描いた水彩スケッチ集。間取りから、インテリア、アメニティ、フードまで、素材や色、寸法つきでビジュアライズした図鑑。東京・近郊のミニマルホテルからラグジュアリーホテルまで、ホテルという空間の魅力を解剖する！

写真：Akira TAKUBO



### MEASURE 遠藤慧 実測水彩ポストカードブック

(学芸出版社、2025年3月出版予定)

これまで様々な事物を実測し、美しい透明水彩のスケッチで描いてきた遠藤慧。その実測対象は、ケーキやパフェから、建物・都市スケールまで多彩。日常生活や旅先で利用するもの、スケール感の異なるものが、実測スケッチという手法で等価に表現されることで、新鮮なもの見方に気づかせてくれる。新作スケッチを含む全24点をポストカードにした特選作品集。

## ■ CREATIVE HUB UENO “es” とは

東京藝大と JR 東日本の包括連携協定の第一弾として、上野駅の交番跡地をリノベーションし誕生したギャラリーです。

東京藝大の学生・卒業生の若手アーティストの作品を展示し、時代を映し出す芸術作品に触れ合う機会をつくれます。また、上野駅全体を美術館に見立て、駅構内に点在するアート作品等をご案内し、多様な文化交流の場を創出していきます。

ギャラリー名の“es”（エス）とは、心理学用語で「無意識の領域」を指し、多様な欲望やエネルギーを内在し、小さくとも無限の表現領域を体現できるスペースを目指して命名しました。



【このプレスリリースのお問合せ】 CREATIVE HUB UENO “es” 運営事務局

東京都千代田区東神田1丁目13-3 商品部ビル5階

電話：03-5809-1653 メール：[info@ueno-es.jp](mailto:info@ueno-es.jp) (担当：宍戸・森田)